



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

# The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

## 主 題 (2011~2012)

- ・ **国際協会会長** Finn A., Pedersen (ノルウェイ)  
『Audere est Facere - To dare is to do』  
「とにかくやろう - 成せば成る」
- ・ **アジア地域会長** Wichiane Boonmapajorn (タイ)  
『Audere est Facere - To dare is to do』  
「とにかくやろう - 成せば成る」  
スローガン 『Mission with Faith』  
「信念をもって使命を果たそう」
- ・ **西日本区理事** 浅岡 徹夫 (近江八幡クラブ)  
『ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献』  
「Contribute to Community through Active Services with Love」  
副 題 『理想を目指して変革と行動!』  
「Change Ourselves and Take Actions Our Lofty Goal」
- ・ **六甲部部长** 森 紘一 (神戸学園都市クラブ) 『伝統を守り、若返りを図ろう!』  
副 題 「もっと楽しく、もっと活発に!」
- ・ **西宮クラブ会長** 濱崎 進一 『皆で知恵を出し合い、行動して行こう!』  
「Let's create wisdom each other, and let's take act up to all member's Y'sdom!」
- ・ **2012年2月 西日本区強調ポイント** **「TOF・CS・FF」**  
「メンバー全てがTOF・CS・FF資金のシステム、意義、活用方法を充分学習することにより資金の効果的活用を計りワイズ活動を活性化しましょう。」

2012年 2月

第766号

65期-08号

since 5.17.1948

65周年: 2013.5.17

・ **スポンサークラブ**  
大阪クラブ  
・ **DBC 締結**  
近江八幡クラブ  
広 島クラブ

### クラブ主役員

会 長 濱崎 進一  
次期 会長 長井 慎吾  
直前 会長 馬場 一郎  
副 会長 山本 常雄  
書 記 浅野 純一  
書 記 阪根 新  
会 計 岩田 健司  
会 計 足立 康幸  
監 事 清水 彬久  
担当主事 三島 浩司  
部交流主査 馬場 一郎  
区交流主任 廣瀬 一雄

2月はTOF(Time Of Fast)の月です。食事を節約し、  
いい地域を支援しましょう。

### 2012年2月第一例会のご案内

日時: 2012年2月17日(金) 19時~20時30分

会場: 西宮YMCA保育園3階ホール

ドライバー: 廣瀬一雄メン、藤原百合子ウイメン

1. 開会点鐘 濱崎会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読
4. ゲスト・ビジター紹介 濱崎会長
5. ゲストスピーチ 「国内外の動物介在教育事情」  
西宮市獣医師会長 水澤栄雄 すばる動物病院院長
7. お誕生日のお祝い 濱崎会長
8. Y'sニュース 濱崎会長
9. YMCAニュース・お知らせ 三島主事
10. 閉会点鐘 濱崎会長

例会終了後、水澤先生を囲んで「金豚」で軽食  
の予定、会費 3,000円 BF、後片付け

### 今月の聖句

『主はあなたを苦しめ、飢えさせ、あなたも先祖も味わったことのないマナを食べさせられた。人はパンだけで生きるのではなく、人は主の口から出るすべての言葉によって生きることあなたに知らせるためであった。』

申命記8章3節

よしひさ  
清水彬久メン 選

1月 例会出席状況 在籍会員数 21名

第1例会(1.20金) 第2例会(1.6金)

メン・ウイメン18名 メン・ウイメン 9名

メネット・コメット 0名 メネット 0名

ゲスト・ビジター 2名 ゲスト・ビジター 0名

合計20名 make-up 3名 合計 9名

出席率 100.0% (累計出席率 92.2%)

### HAPPY BIRTHDAY TO YOU !

2月3日 小野勲紘メン、2月12日 阪根紀子メネット、

2月21日 山本常雄メン、2月25日 長井多美子メネット

ファンド・BFの累計	12月	累計
ニコニコ ファンド	5,000p	16,000p
Brotherhood Fund (BF)	5,100p	21,300p
使用済切手	1,200g	1,200g
東日本大震災支援ファンド	3,400p	21,000p

〒662-0977西宮市神楽町5-23 西宮YMCA内 第一例会: 毎月第3金曜日19時~

TEL: 0798-35-5987 FAX: 0798-23-6170 交通: JRさくら夙川下車南

西宮クラブホームページ URL: [http://www.kobeymca.org/kobe\\_ymca/ys/nishinomiya/html](http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/nishinomiya/html) (プリテン等)

西日本区ホームページ URL: [info@ys-west.or.jp](mailto:info@ys-west.or.jp) (理事通信、事業主任通信、各種資料他)

## 今月のダイジェスト

2月はTOF(Time Of Fast)の月です。食事を節約し、貧しく食事のままならない世界の人々を支援しましょう。家庭にあってはFFもよろしく！

A. 2月号プリテン(定期報告版)	P.	B. 2号プリテン別冊(会員寄稿コーナー)	P.
1. 会長メッセージ-8 濱崎進一 会長	1	1. 神戸YMCA 125年を振り返って(その20) 長井慎吾 125周年記念事業実行委員長	8
2. 第一例会報告 三島浩司メン ドライバー: 濱崎進一メン、三島浩司メン	2	(125周年記念音楽イベント含む)	
3. 交流事業主任だより-8 廣瀬交流事業主任	3	2. 西宮YMCA 保育園だより 三島浩司 園長	9
4. 各事業委員会報告		3. 西宮・宝塚リーダー会だより 井上美和 リーダー	10
Y's ニュース 濱崎進一 会長	4	4. 触主面登場-6 石井恭子 ウィメン	10
YMCA ニュース 三島浩司 主事	4	5. 「音を重ねる日々は心を重ねる日々」47	10
ファンド事業通信-4 濱浩一 ファンド委員長	5	楽団“あぶあぶあ” & ミュージカルチーム“LOVE” 代表 ひがしのようこさん(濱浩一メン)	
広報事業通信-1 浅野純一 前広報主査	5	6. 水の流れのままに-50(俳句) 小野勲 絨メン	11
会計からのお願い 会計 岩田メン・足立メン	5	7. 「ワイズ関係クラブだより-2」	11
5. 今後の予定	6	DBC 近江八幡クラブ 広島クラブ 六甲部各クラブ 関係クラブ もりおかクラブ	
6. 編集後記	7		
7. 西日本区理事通信(2月号) 浅岡徹夫 理事	7		

我らのモットー：To acknowledge the duty that accompanies every right !

(強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う)

### 今月のゲストスピーカーのプロフィール

水澤 栄雄<sup>しげお</sup> 先生 (獣医師) 1959年西宮市生まれ  
すばる動物病院院長、西宮市開業獣医師会会長、西宮市獣医師会学校飼育動物対策委員会代表。  
コンパニオンアニマルが子供たちの教育上、学習効果があることから、動物介在教育に尽力されています。

## 会長メッセージ8



濱崎進一 会長

今月は動物愛護について思うところを書いてみます。  
私の家ではビーグル犬を飼っています。朝、夕、夜の散歩において、以前は家の近くに武庫川があり、河原を散歩コースにしておりましたが雨の日等で散歩に条件が悪い時は、近所を散策しております。

家内が、2年ほど前に近所の散歩コースを変えたおりに、近所の知り合いの家を根城にしている野良ネコのグループがおりまして、そのグループはメス猫が2匹と子猫が1匹、そのままの状態を放置しておくと、益々猫が

増加するためその家の奥さん、近所の犬友達の奥さんと協力して先ず子猫を捕獲して去勢手術をしました。間もなく親が子猫を2匹生み(オス猫)、2匹をまた去勢手術をしました。しばらくするとまた子猫が1匹生まれ、親猫を捕獲し、避妊手術をしない限り猫の増加は防止出来ないため、市の動物管理センターより捕獲ゲージを借用し、1匹捕獲し避妊手術をしました。もう1匹の親猫はゲージに一旦は捕獲したのですが、ゲージより逃げ出したためなかなか同じゲージでは警戒心が働いてなかなか捕獲できません。

ご近所の方で野良猫が住み着き、子猫が生まれますと、子猫をどこかに捨てに行かれるるケースがあります。野良猫の増加を防止するには、避妊手術が欠かせません。避妊手術代は近所の動物病院では、去勢が7千円～1万円、避妊が1万5千円～2万円といわれています。たまたま私が掛っている病院が野良猫の手術という事で半額以下でしていただけます。また近所の犬仲間のご婦人グループがご理解、協力を得て費用を数人で負担していただいております。また、他の動物愛護の方で掛かり付けの動物病院の手術代が安いと云う事で、野良猫避妊、去勢手術のため病院を教えてとの要請で同行し、隠れボランティアをしています。

動物(ペット)は愛くるしくまた飼主(家族)は癒されま

す。しかし飼い主の何らかの事情でペットを手放さねばならない時には、動物を捨てないようにして頂きたいものです。ペットを飼うときは動物愛護のマナーとして

1. 最後まで家族の一員として責任をもって飼う。
2. 子供を産ませるつもりがないなら、避妊、去勢手術をする。などを心がけたいものです。

野良猫、野良猫等ペットの野生化は飼い主(人間)の責任です。最後に、家内と「ペットは愛くるしくて、かわいいが、犬に寿命と私どもの年を考えると新たに犬を責任を持って飼うことはできない」と話しております。

昨年12月末で退会された清水 彬久監事の後任として1月度の役員会において、山本常雄メンが今期の後半のお役目を引き受けて頂くことに決定しました。またブリテンの聖句の選考については後半も引き続き清水メンにお願いしております。両メンにおかれては快くお引き受けいただいたことをお知らせしておきます。

またお世話になった西宮YMCA館長の山根泉さんが2月末をもって退職されることになりました。2月例会の後、歓送の時を持ちますので、皆様ご参加下さい。

## 例会報告(1月)



ドライバー 濱崎進一メン、三島浩司メン

日時: 2012年1月20日(金) 19時~21時

会場: 西宮YMCA 保育園3階ホール

出席者: 浅野、足立、石井、岡田、小野、阪根、堤、長井、馬場(一)、馬場(貴)、濱、濱崎、廣瀬、丸山、万本、三島、山口(吉)、山本の各メン・ウイメン計18名。メイクアップは岩田メン(1月第二例会)、藤原、山口(政)(YMCA 125周年音楽イベント)。

[ゲスト] (社福)三光事業団総合施設長 側垣一也さん

[ビジター] 六甲部 Y サ・ユース事業主査 桑野友子ウイメン(芦屋クラブ) 合計20名

今月の例会は、社会福祉法人三光事業団の側垣総合施設長をお招きし、「児童虐待の現状と課題」と題して

お話を伺いました。三光事業団の原点である「児童養護施設三光塾」は、終戦直後の混乱の中、親を失い、居場所をなくした子ども達の世話をするために、1946年に設立され、多くの子ども達の「家」となってきました。側垣さんのお話の中でいくつか印象に残った内容をご紹介します。

児童養護施設への入所理由の変化について

創設当初は戦争孤児、貧困、親の行方不明等といったものだったのが、1970年代からは両親の不和、入院、離婚といった理由に変化し、1980年代には子ども自身の課題、不登校、家庭内暴力等となり、1995年頃から児童虐待のケースが増加し、現在では殆どが虐待。この虐待の増加を裏付けるように1990年には1,101件であった虐待の通告件数が、2010年には55,152件と50倍に増加しているということでした。

虐待の種類等について

身体的虐待(暴力等)とネグレクト(育児放棄)がそれぞれ約40%、心理的虐待が約20%。性的虐待は3%となっているが表面化していないものが多い。虐待を受けた子ども達の年齢については、学齢前が約40%、小学生が同じく約40%と小学生以下が全体の80%余りを占めている。そして、この虐待を行っているのは実父が約20%、実母が約60%とその殆どが実の親によるものだったということでした。

児童養護施設の課題について

虐待を受けている子ども達は、肉体的、精神的に大きな傷を負い、最悪の場合は命をも脅かされるので、子ども達を保護する社会的な仕組みの更なる充実が急務である。現在、全国で児童養護施設は587施設あるがまだまだ十分とはいえない。入所は18歳までとなっているので、18歳を超えた子ども達は行き場がなくなってしまう。また、施設の職員の処遇も、非常に過酷な労働環境の中で十分とはいえないものであるということでした。

虐待防止への取り組み

子どもへの虐待は、一部の特別な親が起こすことではなく誰にでも起こること。孤立した育児環境の中で、親が自信や余裕をなくし、他の親子との比較競争や情報過多といった環境の中で混乱して虐待に至ってしまう。親は、この混乱に陥る前に何らかのサインを

出しているのです、このサインに早く気づき、援助して行くための社会的なシステムが必要である。家庭養育から社会養育へ変えることで、予防・早期発見・早期対応ができるようにして行くことが重要であるということでした。

保育所という、「親」と「子」を援助する施設を預るものとして、責任の重さを改めて強く感じさせていただく機会となりました。

最後にビジターで出席いただいた桑野友子六甲部Yサ・ユース事業主査(芦屋クラブ)より、Yサ・ユース事業に対する献金のお願いがあり閉会しました。また、例会後ゲストスピーカーの側垣一也先生を囲んで、二次会の一と時を持ちました。(三島浩司)



三光事業団総合施設長 側垣一也先生

## 交流事業主任だより8

2011 - 12 交流事業主任 廣瀬 一雄メン



新年1月6日の金曜日、第二例会(役員会)がありました。神戸YMCAの125周年記念のラストの行事を翌7日(土)記念音楽イベントを控えての最終の委員会があるため、長井実行委員長は出席できませんでしたが、当日の舞台へ出演予定の4名のメンは全員出席。私は西日本区報第2報の報告と、一週間後に控えた次期役員研修会についての説明をさせていただきました。

翌7日は「音楽と祈り～あなたとともに～」が約700名の参加で盛大に催されました。キッズのダンスも楽しく、閉会の長井メンの謝辞もよかった。

8日(日)～9日(月・祝)にかけてクライトンホテルでの研修会。次期9部の部長、7名の主任さん、現各部長、主任と総勢77名の出席がありました。講師



右から森部長、飯田次期部長、広瀬石田次期交流事業主任

には藤井直前国際会長もこられ中味の濃い会でした。LD委員の四日市クラブ大西メンから休憩時間

にご子息のSTEP 申し込みの話を聞きびっくり。早速浅岡理事、長谷川中部部長と懇談。私も申込書にサインをしましたが、後の手続きは事務所の北村さんが私に任せとけ、の一言でお願い。後日コメントからの英文メッセージも届き手続きも進んでいる様子。

14日(土)東神戸教会で沢知恵(Tomoe Sawa)さんのコンサートにメネットと行きました。出版記念と言われていましたがそのパワフルな歌いっぷりに感動を覚えました。

20日(金)は西宮クラブの例会。ゲストスピーチは「児童虐待の現状と課題」ということで(社福)三光事業団施設長の側垣一也氏。近年の児童虐待の増加と社会的養育の視点から子供と家族に寄り添うために私たちに求められるものについてお話しをいただいた。二次会は側垣さんを囲んで多数のメンが参加し懇談の時をもちました。

21日(土)は小野メンの所属する神戸イエス団教会のある賀川記念館メモリアルホールで催されたチャリティコンサートに行きました。被爆ピアノの平和の音色と題し、この教会のオルガニストの山路洋子さんの演奏でピアノの発達と大作曲家、バッハからシューベルトまで詳しい解説と力のこもった演奏でチェンバロとクラヴィコードの時代、ピアノの出現までを学習できました。



26日(木)に西宮YMCA保育園で東部地域委員会がありました。西宮ワイズからの出席は浅野メンと私。宝塚から多胡さんと次期ワイズ会長の長尾さん。学童保育が新たに香炉園を受けるということで忙しさも増していくのでは。山根館長が2月で退職とのこと、新しいお勤めで

も頑張ってください。三島保育園長から新保育園(西宮つとがわYMCA保育園)の工事進捗状況の説明と西宮ワイズからの寄贈品のステンドグラスのブドウの木への思いを聞きました。3月24日の献館式には皆さん揃って参加しませんか。

## 各事業委員会報告

# Y's ニュース

濱崎進一 会長

### 1. 総主事・クラブ会長懇談会

日時:2月29日(水) 18:30~20:00

会場:神戸YMCA 第2会議室

### 2. 東日本大震災・原発事故に関する講演会

#### ・チャリティコンサート

「みつめよう東日本、伝えよう神戸から」

日時:3月3日(土) 15:00~17:00

会場:神戸YMCA チャペル 参加費:1000円

(終了後、懇談交流会17:30~グリーンホテル神戸)

[\* 予備日 3月24日(土)] 懇親会費:3000円、

主催:神戸ポートクラブ、協賛:西日本区、六甲部、神戸YMCA

### 3. 西日本区会長・主査研修会 (長井、濱崎メン出席)

日時:3月10日(土)~11日(日)

会場:チサンホテル新大阪

### 4. 六甲部第2回評議会(兼新入会員研修会)

日時:3月17日(土)14:00~19:30(受付13:30~

会場:神戸YMCAチャペルおよび4階サイコー亭

懇談会参加者 3,000円(新入会員は無料:石井、万本、山口(吉)各メン)

### 5. 西宮つとがわYMCA保育園献館式

日時:3月24日(土)10時~

会場:西宮つとがわYMCA保育園(JR西ノ宮南分、阪神西宮東7分、

スキーキャンプなどの特別プログラムが行われました。今年度は、370名余りの子ども達が参加し、大きな事故もなく無事終えることができました。参加した子ども達、活動を支えてくださったリーダーの皆さんにとって有意義な時間、空間、そして仲間を共有できたのではないかと思います。

また、1月21日、22日の2日間、西宮にある兵庫県立総合体育館において中・西日本YMCAコースバスケットボール大会が行われ、各地のYMCAから300名を超える子ども達が集い、技を競いました。YMCAコースバスケットボールでは、

FUN (スポーツを楽しむ)

VALUE (ものごとを深く知る・考える)

SKILL (上手になる努力・技術)

FAIR PLAY (気持ちよくスポーツをする)

FITNESS (元気な体づくり)

といった5つのゴール(ファイブゴール)

を目指して日頃の練習に取り組んでいます。西宮YMCAからも学年や経験によって分けられたAからDまで4ランクの内3ランクに3チームが出場し、Aランクチームが第4位に入賞しました。

今後は、春休みや新年度の様々なプログラムの参加者の募集が行われていきますが、沢山の子ども達が有意義な時間、空間、仲間を共有し、神様から愛されていることに感謝しつつ歩んで行くことが出来るようになってもらえればと願っています。

### 今後の予定

#### 1) 第28回午餐会

日程:2月18日(土) 12:00~14:00

場所:神戸YMCA4階 サイコー亭

講師:池田 勝一さん

(盛岡YMCA宮古ボランティアセンター長)

テーマ:岩手県宮古からの震災支援活動レポート

~本当の隣人となるために~

会費:1,500円(軽食代を含む)

申込:神戸YMCA本部事務局まで

(TEL:078-241-7201)

#### 2) 西宮つとがわYMCA保育園 献館式

2012年4月の開園に向けて準備を進めてまいりました西宮つとがわYMCA保育園がいよいよ開園いたします。献館式を以下の通り行います。是非ご参加ください。詳細は改めてご案内いたします。

日程:3月24日(土) 10:00~12:00

場所:西宮つとがわYMCA保育園

(西宮市津門川町2-14)



西宮YMCA保育園 三島浩司園長

YMCAでは、年末から年始にかけて雪遊びや



# EMC通信5



山口 政紀 EMC 委員長

EMC通信は今月はお休みです。引き続きEMCにご協力下さい。

# ファンド事業通信4



濱 浩一ファンド事業委員長

## BF使用済み切手ファンドのご協力に感謝

地域奉仕事業でもあるBFファンドで、今までご協力を頂いた「使用済み切手」の整理を1月27日(金)19時~西宮YMCA保育園3階ホールにおいて、三島園長のご協力を得て、濱崎会長、小野で行いました。1月末締切のためぎりぎりの29日に東京の切手商(有)フクオまで発送いたしました。

持った感じ2キロ位の感覚でしたが、計測してみると1.2キロでした。労力の割に合わない成果でしたが、昨年に引き続き発送することが出来感謝いたします。既にテレフォン・カードなども寄せられていますので、今後のファンドの在方も含めて次期に向けて検討したいと思います。(濱崎、小野)

# 広報事業通信1



浅野 純一 直前広報事業主査

## 六甲部ホームページ運用に関する会議

六甲部のホームページに関しての担当者会が1月23日(月)、神戸YMCAで開かれました。

六甲部のホームページについては、各クラブとも更新が長期間行われておらず、世間に対してワイズメンズクラブの活動が十分に伝えられていない、あ

るいは活動が低調な印象を与えかねないとの懸念がありました。

—昨年神戸YMCAのホームページが外部から不都合な妨害を受け、一時期停止していましたが、今回新しいサーバーに切り替えるとの話がありました。昨年度六甲部広報主査であった私は神戸YMCAの新しいサーバーのもと、六甲部全体でホームページの充実が図れないのかとの思いで、YMCA担当主事とも協議しておりましたが、新サーバーの開始が約1年間遅れたために私の主査の時代には実現出来ませんでした。

私のやり残した仕事は今年度の上杉広報主査(神戸西)に引き継いで頂き今回の会議の開催となりました。会議はさんだクラブを除く7クラブが参加しました。

現在の問題点を整理して、会議に参加したクラブで共通の土壌の上に各クラブがそれぞれのホームページを作成することになりました。内容は外部の方々に我々の活動を知ってもらうことを主眼として、視覚に訴え、文章は簡潔をモットーにします。原稿を神戸YMCA担当主事に提出すればホームページ上に掲載していただけます。各クラブは出来るだけ更新の頻度を高めることを確認しました。各クラブのホームページへのアクセスはワイズメンズクラブの西日本区からも、また神戸YMCAからもリンク出来るようになります。なお、各クラブはサーバー管理の負担金の一部として年間3,000円を神戸YMCA経由で負担します。(西宮クラブは予算計上済)

西宮クラブの今後のホームページ運用については次回の第二例会で協議したいと思います。

出席者は功木神戸YMCA主事、上杉六甲部広報主査(神戸西)の他、鵜丹谷(神戸)、大田(神戸西)、大野(神戸)、長尾、石田(宝塚)、森六甲部長(学園都市)、上野(芦屋)、浅野、小野(西宮)の11名。

# 会計よりのお願い

会計 岩田 健司

足立 康幸

西宮クラブ今期の後期(1月~6月)分の会費を集めております。皆様速やかに会計の方までお寄せ下さい。例会時に現金でお持ちくださっても、下記の口座に振

り込んで頂いても結構です。また7月から12月の前期分を未納の方は大至急会計までお寄せ下さい。濱ファンド委員長よりお願いしております「じゃがいもファンド」の代金は以下の「特別会計口座」にご入金をお願いいたします。なお、振込み手数料はご負担下さい。

**(口座にご注意下さい。)**

<p><b>【会費等振込み口座】 &lt;通常会計&gt;</b>          振込み先口座: 三井住友銀行夙川支店          普通預金、口座番号: 3230220          口座名: 西宮ワイズメンズクラブ 山口政紀</p>
<p><b>【じゃがいもファンド等の口座】 &lt;特別会計&gt;</b>          振込み先口座: 三井住友銀行夙川支店          普通預金、口座番号: 3289977          口座名: 西宮ワイズメンズクラブ 山口政紀</p>

**【今後の予定】**

**ドライバーの予定** (敬称略)

3月(山口政、万本)、4月(阪根、濱)、5月(岩田、馬場(一))、6月(長井、浅野)

60周年記念誌編集作業: 第2・第4金曜中心

**六甲部各クラブの第一例会予定(計150名) (+7)**

神戸クラブ(第2火曜日、神戸YMCA) 21名(±0)

**西宮クラブ(第3金曜日、西宮YMCA) 21名 (-1)**

神戸西クラブ(第3火曜日、同上) 12名(+2)

神戸ポートクラブ(第2木曜日、グリーンH神戸) 20名(+2)

宝塚クラブ(第2水曜日、宝塚ホテル) 23名(+3)

さんだクラブ(第2水曜日、三田YMCA) 18名(+1)

神戸学園都市クラブ(第3木曜日、西神戸YMCA) 18名(±0)

芦屋クラブ(第3水曜日、ホテル竹園芦屋) 17名(±0)

**2月の予定**

1日(水)ワイズメンズワールド発行、3日(金)第二例会(兼役員会)、8日大阪なかのしまクラブ15周年記念例会18時30分~、大阪YMCA土佐堀会館、宮古ボランティアセンター池田勝一所長、11日(土祝)第2回サポートプログラム講演会 10時 12時 西岡由香先生(大阪医科大LDセンター)「幼児期に家庭で出来る支援」定員50名、11日(土祝)バレンタインコンサート 三田市ウッディタウン市民センター 1000円(079-559-0075)、15日(水)後期区費納入締切、15日

(水)各種献金締切(ASF、BF、CS、TOF、FF、EF、JWF他)、17日(金)第一例会、ドライバー:廣瀬一雄、藤原百合子、ウイメン、半年区報発行、18日(土)第28回午餐会、詳細はYMCA ニュースをご覧ください。19日(日)13時30分~、大阪西クラブ25周年記念例会、ホテルクライトン新大阪、チャリティ落語、21日(日)京都プリンスクラブ25周年記念例会、グランドプリンスホテル京都、16時~、29日(水)総主事・クラブ会長懇談会19時~、神戸YMCA(濱崎会長、長井次期会長)

**3月の予定**

2日(金)第二例会(兼役員会)、10日(土)~11日(日)次期会長・主査研修会(ホテルチサン新大阪・長井、濱崎)、APE(アジア地域会長)投票、16日(金)第一例会(ドライバー:濱崎進一、三島浩司)、17日六甲部第2回評議会・新入会員研修会(対象者:石井、万本、山口吉、土橋) 神戸YMCA、20日(火祝)西宮YMCAファミリープログラム、

**4月の予定**

14日(土) - 15日(日)西日本区第3回役員会 ホテルクライトン新大阪(廣瀬主任出席)、15日(日)14時30~高槻クラブ30周年記念例会、たかつき京都ホテル、会費10,000円、22日(日)16時~、京都パレスクラブ41周年記念例会、ホテルオオクラ京都、会費10,000円

**5月の予定**

8日(火)神戸YMCA創立記念礼拝、19日(土)六甲部役員準備研修会 神戸YMCA(長井、濱崎)、24日(木)18時30分~、神戸YMCA定期総会、神戸YMCA

**6月の予定**

9日(土) - 10日 第15回西日本区大会(第4回役員会) 滋賀県立文化産業交流会館 + 長浜ロイヤルホテル



今年はいわ湖で広島・西宮・近江八幡3クラブの交流の機会を共に持ち、わたしたちの気持ちと支援を東日本の被災地に届けましょう。

## 編集後記

2011 - 12年度も後半に入りました。今期は17年前に私たちが経験したあの「阪神淡路大震災」と記憶が重なります。大きく違うことは、阪神淡路大震災ではなかった「津波」や「原発」が二重の苦難となるし、規模の大きさも違います。支援するボランティアには焦点が絞れず、遠隔地がその支援を妨げています。

しかし、私たちには阪神淡路大震災の経験があります。少しずつ支援を重ねて、長期間の支援が望まれます。西宮クラブも続く支援計画に着手したい。

神戸YMCAの125周年記念イベントが有終を飾り次の四半世紀に向けてスタートしました。新時代に先駆けた魅力あるYMCA活動の開拓と深耕を夢みるアイデアが待たれます。YMCAの原点(教育)に立ち返った活動に期待します。それには前例を排した工夫にしか道はありません。(chocobay)



## B F 切手

今年の年賀状の当選番号は27番と44番です。

皆様に届いた年賀状をお確かめ下さい。

## 理事通信(2月号)



11 - 12年度西日本区理事 浅岡徹夫

### 明るい笑顔で社会に貢献

新年を迎えた1月には、西日本区各地でワイズの新年例会が開催され、気持ちも新たに新しい年を

昨年6月の西日本区大会で東西日本区の6クラブ(京都ウエスト、大阪西、神戸西、広島西、熊本にし、東京西)がヘキサゴンDBCを結ばれました。(既に結成されていたペンタゴンに広島西が加入)せっかくの機会ということで、共同して東日本大震災の支援を行おうと話し合われました。

10月末にヘキサゴンの中の4クラブ6名が東北の被災地を訪問され、被災地のワイズ4クラブやYMCA

Aの協力を得て、現地の視察や関係者のお話を聞かれ、その時の状況や参加者の感想などを小冊子にしてまとめておられます。ヘキサゴンでは今回の被災地訪問時を含め既に献金150万円を、現地のYMCAとワイズメンズクラブに寄贈されています。更にこの時、仙台YMCA総主事と今後の支援について話された結果、大震災で親を亡くされたような、経済的に大変厳しい環境にある幼児が、YMCAの幼稚園に入園するのを援助するプログラムに参加することを検討されています。

この園児の支援には1人1年で40万円前後掛かり卒業までに2~3年要しますが、大震災で親を亡くした子供を自分の子や孫の様に目に見える形で支援出来るのは素晴らしい活動ではないかと思えます。もしもヘキサゴン以外で、西日本区各部や各クラブで参加を検討していただける場合はご相談ください。1クラブでの援助が難しければ、複数のクラブ合同で、または部で支援することも考えられると思います。今回のヘキサゴンの様なDBCでの支援は大変参考となる事例です。ヘキサゴンDBCの今後益々の活躍を期待したいと思います。東日本大震災復興支援に関して、他にも協力を呼びかけた方が良い様な活動があればぜひご紹介ください。

一年で一番寒い季節ですが、お身体に十分ご留意いただきまして、ワイズダムの発展に一層のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

## 東日本大震災被災地を支援しましょう



**1人で出来るボランティア**：今年度ワイズメンズクラブ西日本区では義援金200万円を目標に募金を募っています。まだまだ不足しておりますのでどうぞ、よろしく願いいたします。締切は2月15日。(理事通信、Yサ・ユース事業通信、ファンド事業通信などを、西日本区HPでご覧下さい。)





"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

# The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

## ブリン別冊(会員寄稿コーナー)



(その20)

神戸YMCA 125周年記念事業実行委員長  
長井 慎吾メン



125周年に際し活動の原点を振り返るため、神戸YMCA 125年の先達の偉業をレビューしています。

1月7日に、125周年記念事業の集大成となる「音楽と祈り～あなたとともに～」を神戸市東灘区民センター「うはらホール」で開催しました。1年間に渡り4つのイベントを開催してきましたが、方針として、多くのYMCA関係者に準備から参画して頂き、YMCA運動の原点を振り返る機会となることを願ってきました。

おかげをもちまして、保育園児からシニア会員まで多くの方々の参画を得て狙い通りの事業ができたと思えます。しかし、「良かった」で終わらせてはならないと心新たにしています。神戸YMCAは、これまで大きな周年事業を機会に過去を振り返り、未来を考えて新たな飛躍をしてきたからです。1978年の創立80周年を記念して出版された「限りなき前進を」では、YMCAに課せられた活動領域のすべてに対してといい、多くの示唆に富んだ意見が集められました。その結びの項で、時の今井総主事は、過去を顧みつつ、次のようにYMCAと時代を位置づけました。「しかし、今や過去の経済成長を続けることは不可能だといわれ、近未来はさらに「不透明な社会」になるとの見方がひろまりつつある」とし、次の三点を予測しました。

第一は、高齢化社会。社会構造の変化や、いきがい論、健康の問題まで波及する。さらに、都市化から発生する家族や家庭の問題、青少年の非行等にも影響を与えることは必至である。

第二は、余暇社会の到来。かくて、働くことが人生であった時代から、自分が自由にできる時間を獲得した時に、何をなすべきかを明確に答えていくことが迫られる。

第三は、国際化社会。日本人が異質な人々との出会いを通して相互交流の真の意味を掴みうるか。

このような予測は、その後、1986年の創立100周年の記念事業で、次の二つの大きな事業へと繋がります。

一つは、現在の学園都市YMCAの設立です。神戸市の西神方面への開発に合わせ、研究学園都市に、専門学校の移設、新設学科の増設、さらに、健康増進のために科学的なトレーニング法でのウエルネスプログラム、地域の幼少年を対象としたチャイルドケアプログラム等の設置をもくろみ1988年開設を目指し準備が進められました。

二つ目は、国際文化センターの設置です。三宮加納町交差点の朝日生命ビルを借用して、国際と地域に力点をおいた活動拠点を目指しました。その事業目標は、国際化時代に対応する新サービス活動とし、文化とことばのプログラム、国際奉仕、交流、情報サービス、啓蒙、また、情報化時代に対応する地域サービス活動で、市民意識を高めるための教育ボランティア養成、さらに、研究、調査活動でこれまで収集した資料を活かしていく事業でありました。このように、周年事業では過去を振り返り、現在、未来の社会を考えてYMCAが進む方向が検討され、実行に移されてきたのです。

今回の125周年もこのような機会であらねばと思いません。(注)創立80周年から創立100周年の間が8年間である故は、1980年の東京YMCA創立100周年に、各都市YMCAの創立を同じ基準で見直した際に見直されたことによる。

## 1月7日(土)うはらホール・125周年記念音楽イベント

西宮クラブから、浅野、足立、岡田、小野、堤、長井、馬場(一)、濱崎、藤原、廣瀬、三島、山口(政)、山本の各メン計13名。岡田、長井、山口(洋)の各メネット、長井コメントの計4名。合計17名が参加した。(内藤原、山口各メンは1月例会にMU) イベント全体では約700名近くの方々が参加して125周年を共にお祝いしました。



YMCA幼稚園児の子どもたちの元気一杯の合唱



ユースリーダーと保育園児たちの「いまもあなたと共に」



最後にYMCA保育園児、YMCA幼稚園児、ユースリーダー(OBOGを含む)、教職員・YMCA関係者、ワイズ、出演者などが一堂に会して年末の「第9」を気取って？大合唱で締め括り、長井実行委員長のお礼の挨拶でフィナーレとなりました。(最後段がワイズの面々。六甲部から各4名×8クラブ=32名出演。西宮クラブから足立、小野、長井、馬場(一)、廣瀬各メンが出演) **皆様125年間ありがとうございました。**  
**またこれからもよろしくお願いたします！**

 **神戸YMCA**  
Young Men's Christian Association KOBE since 5.8.1886

## 保育園だより

(西宮YMCA 保育園だより1月号より)



三島 浩司メン(保育園園長)

### 1月の主題:じっくりと

新しい年を迎え、4月から始まった保育園での新しいお友達や先生達との生活も随分落ち着きを見せています。子ども達は、キャンプや運動会、クリスマス会といった大きな行事も楽しみながら乗り越え、一つ一つがそれぞれの成長の糧となってきたようです。残りの3ヶ月は、新しい年度へのより大きな羽ばたきへの充電期間として、一日一日を大切に、毎日の生活の中で色々な新しい喜びや楽しみを見出す機会となることを願っています。

先日、小学校や幼稚園の先生、保育士になった数名の元リーダーとお話をする機会がありました。「1年生は大変です。座ってお話を聞くことがなかなかできなくて・・・。」「幼稚園や保育園ではじっと座って何かをすることは余りないの?」と。すると、幼稚園の先生や保育士から「礼拝や製作などでは結構集中して座っているけど・・・。」と。これくらいの年齢の子ども達は余りじっとしていられなくて当然のように思います。

けれども、大好きなこと、楽しいこと、興味深いことに対しては相当な集中力を発揮します。保育園のお誕生会のパネルシアター等では、幼児だけでなく乳児も相当な集中力を発揮します。「子ども達の「好き」「楽しい」「面白い(興味深い)」をタイミングよく組み合わせた授業を!」その後、様々な楽しい授業が提案され、小学校の先生の元リーダー達は沢山のお土産を持って帰りました。園でも子ども達の「好き」「楽しい」「面白い(興味深い)」を大切にしつつ、じっくりと過ごしたいと思います。

使徒パウロは、異邦人からキリスト者となったエフェソの人々のために「イエス様の愛、私達人間の考えが及びもしないほど広く、高く、深い愛を知るように」と祈りました。「健康でいられますように」「平和でありますように」「苦難を乗り越えられますように」といった人間の価値観での祈り、願いとは異なっています。

昨年は、東日本大震災を始め様々な自然災害があり多くの人々が今尚困難な状況の中にあります。また、病気や紛争等に苦しんでいる人々も沢山います。その様な人々も私達人間の理解を超えた神様の愛を知り、イエス様を心に招き、イエス様の愛に根を張った歩みが出来るよう、「いつも共にいてください。」と祈りながら新しい年

も歩んでいければと思います。

**1月聖句：あなた方の心の内にキリストを住ませ、あなた方を愛に根ざし、愛にしっかりと立つ者としてくださるように。**  
(エフェソの信徒への手紙3章17節)

## 西宮・宝塚リーダー会だより

西宮・宝塚YMCAリーダー会 御前 依里さん

こんにちは。いつもリーダー会を応援していただき、ありがとうございます。

1月のリーダー会の活動は、毎月行う例会に加え、冬プログラムのスケート講習会や、キャンプなどがあります。例会では、広い運動場で、運動会をしました。子どもたちもリーダーも、すごく楽しみにしていた運動会で、グループのみんなと協力し合っていて、のびのびと楽しく活動することが出来ました。最後には、1位のグループを表彰し、嬉しさや悔しさなど、様々な気持ちを感じる事が出来たのではないかと思います。

スケート講習会では、スケートをしたことがない子どもは、何度も転んでいましたが、頑張って練習し、最後には一人で滑る事が出来るようになりました。また、もうすぐに待ち構えたキャンプのためにミーティングを行い、子どもたちにとって良いキャンプを作るため、準備をしています。そして、今春もスキーキャンプを予定しています。リーダー達は、楽しく充実したスキーキャンプにするためにミーティングやトレーニングを行い、準備をしています。

今年度もあと少しですが、リーダー一同一生懸命頑張りますので、どうぞこれからもご支援よろしくお願いします。

## 触主面登場-6



石井 恭子ウイメン

昨年1月に入会させて頂き、ちょうど一年が経ちました。まだまだ分からないことばかりですが、どうぞよろしくお願いいたします。

入会式が行われた2011年1月第一例会は、リーダー会との交流が企画されており、たくさんのリーダーの前に入会式をして頂き、とても嬉しく思い

ました。(この日に入会できるよう図って下さったようです。)

リーダー時代の思い出といえば、あまりにありすぎて・・・。西宮ワイズメンズクラブの皆様との関わりの中で、一番思い出に残っていることは、「会員の集い」でリーダーとしてスピーチをさせて頂いたことです。その日は成人式と重なっており、どちらに参加するか迷ったのですが、「会員の集い」でのスピーチが私の成人式となりました。

ワイズに入会してから、リーダーと一緒にやった事業は楽しく、ファミリープログラムではカヌーに乗ることができ、リーダー時代を思い出しました。リーダートレーニングで初めてカヌーに乗った瞬間の感覚や、アドバンスで余島から小豆島へ渡ったカヌートリップ。キャンプでは、子どもたちと一緒にカヌーに乗って流されたことや、アウティングをしたことなど。そして、その時に関わって下さったスタッフやリーダーのこと。爽やかな風を心地良く受けながら、懐かしい記憶が蘇ってくる一日でした。ワイズの皆さんも、リーダー時代の顔に戻っておられたのが、印象的でした。

### 【お願い】

次月以降の執筆予定は以下の通りです。お早目に原稿を送って下さい。(顔写真があれば添付下さい)

(7) 3月号:万本 敬一メン(2月20日まで)

(8) 4月号:山口 吉郎メン(3月20日まで)

新人メンバーの「**触主面登場**」は以上です。以後ベテランメンバーに続きます。ベテランでも当然「**触主面**」ですので、大いに自慢話を、お早目にご披露下さい。(トホホ話もちろん歓迎です)

(9) 5月号:山口 政紀メン(4月20日まで)

(10) 6月号:山本 常雄メン(5月20日まで)

(11) 7月号:濱 浩一メン(6月20日まで)

(12) 8月号:廣瀬 一雄メン(7月20日まで)

(13) 9月号:濱崎 進一メン(8月20日まで)

(14) 10月号:岡田佑一郎メン(9月20日まで)

## 音を重ねる日々を音を重ねる日々に-47



楽団あぶあぶあ&ミュージカルチーム

LOVE 代表 ひがしの ようこさん

濱 浩一メン

楽団あぶあぶあ&ミュージカルチーム

LOVE の「音を重ねる日々は心を重ねる日々」は  
今月もお休みです。

楽団あぶあぶあ & LOVEをご支援下さい。

### あぶあぶあ & LOVE 基金へのご支援のお願い

あぶあぶあ & LOVE の活動資金をご支援  
下さい。活動拡大のため、ご支援いただく  
金額は問いません。

郵便振替: 神戸 00940 - 6 - 71757

口座名: あぶあぶあ & LOVE

## 水の流れるままに50



ともくに  
山野 直行 (小野勲メン)

(俳句)

### ・冬晴に 夜明けの雀 見得を切る

(私は自宅マンションの向かいにある空き地で、毎夜雀にエサを撒いています。ここはスーパーマーケットの駐車場の出口ですが、かつてはここに小自然といった植え込みがあり、小鳥や虫たちが住んでいました。駐車場を作るためにその小自然(公園)は無残にも撤去され、そのブロック塀だけが残っている。かつての住人だった雀たちはまだこの空き地に住んでいるのである。そんな住人達の生活を守りたい一心で未だにエサの米を撒いているのである。鳥たちには朝の順番があることを、早朝出てみて初めて知った。一番早いのが雀。その次がいわゆるハシブトカラス。最後が鳩である。従って早朝の早い時間にエサを撒いておかないとカラスや鳩がやってきて、雀がエサにありつくことが出来ないのである。そのために私は頑張って前夜の内に、エサを撒いている。早く来てエサにありつけた雀たちは嬉しそうに、あたかも見得を切っているようでもあった。)

### ・腹芸も 遠くなりける 忘年会

(私が若かりし頃の忘年会といえば、工事現場でしかも、お座敷ということもあったから、浴衣を顔までまくり上げて、お腹に顔の絵をかいて踊る、いわゆる「腹芸」を必ず誰かがやっていた。最近の若者はスタイルも飲み方もおしゃれになったのか、ついぞ腹芸などは見かけない。腹芸と言っても「何? それ」って言葉しか返ってこない。昭和は遠くなりしにか。)

このコーナーもついに50回を数えることになりました。思えば4年余り、よくぞ種が尽きないと思われる一方、皆様はここまで駄作によく我慢して、ついてきて頂き、ありがたく思っております。

実はこのコーナーを始めて間もなく、会社の元上司である先輩から会社のOB会の俳句サークルに誘われました。この先輩は某国立有名大学出身で本来ならば、いわゆる「パンカラ世代」の人間で、ひと度アルコールが入れば飲めや歌えのドンちゃん騒ぎになることが一度や二度ならず、酒癖では社内1、2を争うという豪傑?。そんな方からの句会のお誘

いに「人は見かけ」に寄らないものだとその落差にも驚いたものでした。

そんな方が例会に出席されても高得点を獲得するのももびっくり。ただ解説は論客らしく、やゝ理屈っぽいところが玉に傷で、相変わらずだなあと感心しきり。先輩は定年を到に過ぎていても意に介せず、あちらの方もこちらの方もまだまだ現役を貫き通し、今夜も足は祇園の方に向けてご精勤。ただただ、ご苦労様ですと言う外に言葉が見当たりません。

## ワイス関係クラブがよりー2

IBC や DBC、六甲部あるいは、他の関係クラブの活動くを知って、交流していくことは、協働していくために大切なことです。そこで、各クラブのプリテンから各クラブの主な活動を紹介します。詳細な内容は、個別に各クラブのHPでご確認下さい。

### DBC関係

#### 広島クラブ

- ・12月18日(日)呉クラブの主催で江田島でミカン狩りが行われ大量の収穫(15箱)
- ・1月例会:1月21日(土)西中国部7クラブ合同新年例会「次郎丸」で開催。広島クラブに新たに高木メンが入会し、入会式が行われました。

#### 近江八幡クラブ

- ・1月21日(土)第一例会、ゲストスピーカー:近江八幡資料館館長 河内美代子さん「近江八幡よもやま話」と題して、埋蔵文化財発掘に見る近江八幡の歴史に触れた。
- ・1月17日(水)BF切手整理作業

### 六甲部関係

#### 神戸クラブ

#### 神戸西クラブ

#### 宝塚クラブ

#### 神戸学園都市クラブ

プリテンが数年HPへのアップが滞っている。今回、神戸YMCAの新サーバー利用により、新しいHPが完成するので、その段階からプリテンを紹介したい。

#### 神戸ポートクラブ

1月14日(土)1月例会はCS切手の整理を行った後、丹羽宅で、故丹羽武夫メンの記念会が持たれた。石

坂メンが昨年11月に胃全摘出とS字結腸の手術を受けられたが順調に回復されてお元気だとのこと。大野メンは大阪、神戸両マラソンを完走。健脚ぶり発揮。

#### さんだクラブ

1月例会は1月18日(水)田助で新年例会が持たれた。恒例のバレンタインコンサートは2月11日(土祝)ウッディタウンセンターで開催。15時～、出演はディキシープリンセス。1000円。

#### 芦屋クラブ

1月例会は1月18日(水)樹医の山本健氏をゲストに「樹木の再生」についてお話された。芦屋クラブ内で手分けして、それぞれが、12月に六甲部はじめ近隣クラブのクリスマス例会に参加した記録を掲載。

#### 他の関係クラブ

#### 横浜つづきクラブ

現在照会中。

#### もりおかクラブ

- ・12月8日クリスマス例会は大通きのえね本店で開催。ゲストスピーカーは白百合学園高校教諭の松尾聡先生。昨年ノルウェーからSTEPで来日のエルダー君の不来方高校の訪問は、松尾先生の奥様がお骨折りとのこと。
- ・11月19日宮古ボランティアセンターの池田勝一所長と日本YMCA同盟東山荘佐久間真人営業主任の講演が「アイーナ」で開催。
- ・1月20日第二例会は「プラザおでって」で体験農場蕎麦打ち大会を催し、自分の打った蕎麦で食事会。
- ・1月21日第一例会は旬菜「純」で開催。

(FINE)